

島根県発掘調査通信

第10号

飯南町
下来島



まいぶんくん

古代に人々が活動した跡が出てきたよ！

島根県埋蔵文化財調査センター
松江市打出町 33 TEL0852-36-8608
飯南町現場事務所 TEL0854-76-9166

遺構・遺物が続々と出土しています！

今年度の上ノ谷遺跡の発掘調査を開始してから、約2か月が経過しました。調査を進めるにつれ、遺跡から古代の人々の活動した痕跡が発見されつつあります。

今回の発掘調査通信では、これまでにどのような調査を行い、どんな遺物が出土しているかを紹介します。

これまでに発掘調査で行った作業



作業① 表土掘削

遺跡の表面を覆う土を掘ります。調査の対象とならない土の層は重機を使用して掘ることもありますが、上ノ谷遺跡では人力で掘り下げています。



作業② 包含層掘削

遺物を包含している土の層を掘ります。掘った土の中に遺物が含まれていないか、注意しながら作業を進めます。



作業③ 遺構検出

古代の人々が地面に穴を掘ったり建物を建てた跡を見つけ、その形に添って線を引きます。土の色や質の違いを見ながら慎重に探します。

上ノ谷遺跡では黒色の土が遺跡全体に広がっており、この土から遺物が出土します。また、その下には「ハイカ」と呼ばれる三瓶山の火山灰を含む土が堆積しています。

作業を進める過程で、様々な遺物が出土しました！

→詳細はウラ面へ



出土した遺物



①



②



③

① 小型丸底壺

古墳時代に祭祀や日常の食器に使ったと考えられる土器

② ミニチュア土器

古代の人々が祭祀に使ったと考えられる土器

③ 壺・甕の口縁部分

弥生時代から古墳時代に作られた、食べ物や水を貯蔵する土器の一部

古墳時代後期（約 1400 年前）の遺物が多く出土していますが、縄文時代や弥生時代の遺物も出土しています。その頃から、上ノ谷遺跡で人々が活動していた様子が分かります。

これからの調査予定



※この写真は他遺跡の調査例です。

今後は見つかった遺構を掘り下げたり、記録（写真や図面など）をとる作業を行います。

記録作業の後にはさらに土を掘り下げ、もっと昔に人間が活動した跡が残っていないか探していきます。

8 月には現地公開や発掘調査体験の開催を予定しています。

※安全のためのお願い※

発掘調査の現場は、深く掘り下げた場所があるためたいへん危険です！

事故防止のため、立ち入らないようにお願いいたします。

●遺跡見学について●

発掘調査に興味のある方や、社会科・総合的な学習での見学をご希望の方は、事前にオモテ面上記連絡先までご連絡ください。